園通信

第５４０号
R7．10．16
いさわこども園

枝にとまったトンボを捕まえようと、手を伸ばすと、「あっ！」飛んでしまいました。
次にトンボがとまったのは、手を伸ばしていた子の帽子の上。「わたしがとるね」と静かに静かに手を伸ばした友達。トンボを気にしながら、動かないでじっと待っていました。　　あか組（２歳児）

朝夕の風がひんやり感じられるようになりました。トンボを追いかける子ども達の笑顔が秋の陽ざしに輝いています。

運動会を終えた今、子ども達は友達を誘ってかけっこや鉄棒をしたり、小さい組の子ども達もリレーのように走ったりして、気持ちよく体を動かしています。「わんぱくコール」や「運動会の歌」を歌い、運動会ごっこを楽しむ姿も見られます。

過ごしやすいこの時期。子ども達の「やってみたい！」という思いを大切にし、戸外遊びや散歩などを通して、秋ならではの活動を楽しめるようにしたいと思います。

体調を崩しやすい時期ですので、秋の美味しいものを食べて元気に過ごしていきましょう。

9月の あしあと

9/5（金）大きなバスが来た！

　胆沢交通で運営している路線バスにきいろ組（５歳児）の子ども達の絵が展示されておりましたが、この度、そのバスがいさわこども園に来てくださいました。

　子ども達は、バスに乗車体験をさせていただきました。「乗車券」を１枚ずつ取ったり、「とまります」のボタンを押してみたりすると、わくわくして笑顔いっぱいになりました。運転手さんに握手をしてもらい、さらに大喜びの子ども達でした。

９/８（月）
煙の中の避難訓練・消火訓練

　もも組のコンセントより出火想定
　以上児の廊下では、発煙筒を用いて煙の中の歩行体験をしました。
・姿勢を低くして歩くこと。
・ハンカチや手、袖口などで鼻と口を覆う。
などを事前に伝えると、実践する子ども達。

高昌商店の高橋さん

「今日は白い煙でしたが、本当の火事の時には黒くて、くさい煙です。煙の中を歩くと、咳や鼻水が出てきて、口や鼻がふさがるようになって、苦しくなります。」と教えてくれました。

※喘息など煙の中が心配なお子さんは、煙のないところを避難しています。
※今回は延焼を想定していたので、避難場所は駐車場となり、次の場所への移動に備えました。

９/１３（土）
きいろ組童謡メドレーを披露

「いつもでも元気でいて下さい」と伝え、
「どんぐりころころ」「ゆうやけこやけ」「100歳のうた」３曲の童謡を披露しました。

　子ども達は大きなステージで、緊張した様子も見せずに、心を込めて歌いました。懐かしや温かさを感じる歌で、みなさんに喜んで頂き、司会の方には「感動しました。涙が出てきますね。」とお話しいただき、さらに大きな拍手をいただきました。

9月27日（土）

わんぱく大運動会

４月から遊びの中で取り組んできて、できるようになったこと、頑張ったことなどを競技に盛り込みました。「えがお　きらきら　こころ　きらきら がんばろう」のスローガンで気持ちを盛り上げて、運動会を迎えました。気持ちの良い秋晴れの中で、体をのびのびと動かし、一人一人が主役になって頑張り、楽しみました。

たくさんの保護者の皆様の応援を受けて頑張る姿に、成長を感じられたことと思います。

役員と事業部のみなさんのご協力や、たくさんの方々の声援に支えられて、無事に第２回わんぱく大運動会を終えることができましたことを心より感謝申し上げます。

運動会後の感想が寄せられましたので、一部紹介いたします。

Bちゃんのお母さんより

竹ばやしはずっと家でも、リズムを口ずさんで頑張って練習していたので、それが形になった姿をみれて、みなさんの前で披露できてよかったと思いました。競技中には、春に頑張って覚えた「やってみよう」の曲が流れてきて、頑張る姿と重なって、母はなんだかうるうるとしてしまいました。

みんな先生の指示に従ってしっかり動けていて、たくましくなったなと感じました。見ごたえがあり、楽しく過ごすことができました。すばらしい運動会にしていただいて、本当にありがとうございました。

Aくんのお母さん

年長組は出番が多く、人前が苦手な我が子が力をだせるのか、やりきれるのか、不安でした。でも、練習が始まった頃から「きいろ組はうんどう会のリーダーなんだ」「リレーのリーダーになった」と話してくれるようになり、気持ちを向けて取り組んでいることが伝わってきました。当日は仕事で見れませんでしたが、カメラから照れながらも一生懸命がんばる姿がみれて感動しました。

人前で話すことは苦手でも走ることはできる。きっと本人の自信にも繋がったと思います。得意なところを伸ばせるような貴重な経験をさせていただき、大変ありがとうございました。

練習の様子から

総練習の様子から

みどり組

練習の様子から

Cちゃんのお母さんより

　総練習の時から、そわそわでいつも負けちゃうと毎日しょんぼりしていたCでしたが、当日は気持ちが前のめりになったのか、リレーで転んでしまいましたが、最後まで走りぬいてくれました。「がんば！！」と大声で叫んでしまってました（笑）

　どの競技も緊張しながらも必死に頑張る姿に、一緒にドキドキしながら楽しく応援することができました。

　最後にもらったメダルを嬉しそうに子ども達で見せ合う姿が可愛らしく、とても良い運動会でした。

Dくんのお母さんより

　今年の運動会はとても成長を感じられるものでした。昨年は、準備運動も少し恥ずかしそうにやっていましたが、今年は堂々と立派にできていました。また、かけっこもこんなに速く走れるようになったんだなと思いました。お友達が走る時、「〇〇くんがんばれー！」と大きな声で応援している声が聞こえてきて、えがおキラキラ　こころキラキラ　運動会を楽しんでいる様子でした！運動会の準備、運営おつかれ様でした。子ども達の楽しそうな様子を見られてとても楽しかったです。

もも組

練習の様子から

運動会の様子から

Eくんのお父さんより

　入場行進からきちんとできるか心配でしたが、親の心配をよそに準備運動もしっかりと出来ていました。かけっこでは名前を呼ばれて大きな声で返事をして「よーいどん」で走る姿をみて成長したなと実感しました。親子競技では子どもとの初めての運動会でしたので、とても良い思い出になりました。ありがとうございました。

Fちゃんのお母さんより

　初めての運動会！！家で運動会の練習をしている様子を見て、毎日ワクワクしてこの日を待っていました。いつもの登園とは違う様子に少しドキドキしているように見えて、母も始まるまでドキドキしていました。入場行進から堂々としていて、歌や体操、かけっこ…全て笑顔で、でも真剣な娘を見て、すごく、すごく、誇らしかったです。もも組のみんながお兄さん、お姉さんに見えた１日でした。先生方、たくさんの練習、ご指導ありがとうございました。

保護者の皆様へ

私たちが伝えたい「**７つのメッセージ**」ぜひご覧ください。

４．子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう。

「何でも自分でやろうとする意欲のある子に育ってほしい」そんな思いをもって子どもたちと関わる中で、目の前にいるその子がしようすることをじっくりと見守り続けることは難しいことだと思います。しかしながら、その中で私たちが大切にすることは、その子がしたいこと、関心を向けていることは、何なのかを見ようとし、理解しようとする心であると感じています。

ずりばいやハイハイをし始めた乳児期の子どもには、しっかりと自分の意思があり「あの玩具を手にしたい」「知らない世界を知りたい」という思いを感じ取ることができます。興味のある方向へ自ら進もうとしているという眼差しを向けることで、「何もできない赤ちゃん」ではなく、「意思をもった一人の人」としての関わりに変わってくると思います。

傍らで見守りながらも、あえて手を貸さずに見守ることは我慢が必要ですが、「程よい距離」で温かく見守ることが、子ども自身の意欲につながっていくと考えています。

１歳児期を迎えると、自分の場所や自分のものがわかるようになり、毎日繰り返している生活の流れや物事の手順についてある程度予想もできるようになるため、何でも試して繰り返す中で、物事に手応えを感じられるようになります。そのため、子ども自身が自ら出し入れしたり、取り出したりしやすい環境をつくることで、「これで遊びたいな」と感じた時に、自分の意思で遊び込み、試行錯誤していく一歩を踏み出していきます。

どこまでできるのか、何に困りを感じているのかを大人が理解することで、子ども自身の身の回りのことへの意欲も増していきます。例えば、自分で服に袖を通すことができるようになった時期は、袖を通し終えるまで、傍らで見守り、まだできないボタンかけをさりげなくかけてあげながら「自分でできた」ということを大いに認めることで、自分でできたという手応えを喜ぶようになり、さらなる「自分でやりたい」という気持ちを育んでいます。

子ども自身が自ら選択し「自分でやりたい」と取り組むことで、物事に見通しをもったり、責任をもったりできるようになっていくため、うまくいかない時は、一緒に考える、やろうとする意欲を認めることを繰り返す中で、さらなる課題への意欲が増していくのだと感じています。「やりたい」という自分の意欲が満たされる経験で「周りへの興味」へもつながっていきます。私たちは自ら物事をしようとする子どもの心の動きやその過程をしっかりと見て、「頑張ってるね！」「自分でやれたね！」といった言葉で「ちゃんとみているよ」と伝えることを大切にしながら、子どもの「やりたい」という気持ちを育んでいきたいと思います。

サンタさん、ありがとうございました

昨年のクリスマスのことです。いさわこども園に、サンタさんがいらして図書券をプレゼントして下さいました。
今回、子ども達の大好きな
・小学館の図鑑NEOシリーズ７冊
・読み物絵本６冊
買わせていただきました。
友達や先生とじっくり図鑑や絵本を見て、楽しい時間を過ごしています。
サンタさん、本当にありがとうございました。

どれにしようかな？
ぼくは、恐竜がいいな？

株式会社ファーメンステーション様より
お米とリンゴの除菌ウエットティッシュ
を園児全員に頂戴しました。
お家で衛生対策の一つとして、使わせていただきましょう。ありがとうございました。

9/26（金）　担任から手渡され、嬉しそうな子ども達でした。

お知らせ

職員配置について

◎４歳児クラスに入ります

保育教諭　五嶋（ごとう）　あさ美（あさみ）

１０月１日（水）付で愛宕保育園より異動しました。
よろしくお願いいたします。

令和6年度いさわこども園事業活動報告･決算報告について

令和6年度いさわこども園事業活動報告･決算報告は、ホームページ及びこども園玄関に置いてあるファイルにて公開しております。
どうぞご覧ください。

10がつ 行事予定

月	火	水	木	金	土
		1 児童健康診断 （3･5歳児）	2	3 センター会議	4
6 十五夜 給食会議（以上児） 個別面談（1歳児）	7 お月見会 クッキング（5歳児） 個別面談（1歳児）	8 児童健康診断 （4歳児） ことばの検（5歳児） 職員会議	9 個別面談（1歳児）	10 秋の遠足 0歳児～5歳児 個別面談（1歳児）	11 手作り弁当
13 スポーツの日	14 4回救命救急講習会 （職員対象）	15 交通安全教室（5歳児） 児童健康診（未満児） 本部会議 法人研修委員会	16 園内研 佐藤教授来園	17	18
20 給食会議（0歳児） 教育実習生受入 ～11/17	21 誕生会 子育て支援部門運営 会議（愛宕保育園）	22 歯科健診（以上児） 奥州市社会福祉大会	23 親子バス遠足 （5歳児）	24 プロジェクト定例会	25 手作り弁当
27 給食会議 （1･2歳児）	28 園内研 裸足保育実態調査 （以上児）	29 不審者対応訓練	30 職員会議	31 ハロウィン祭り 第2四半期出納監査	

「ぼくのままごと遊び」　～実はこんな思いがあったのね！～

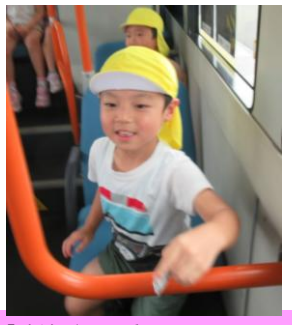
みかん②組で女の子達が大型ブロックを組み合わせてベットを作り、お人形を寝かせて、とんとんして遊んでいました。お母さんや先生を思わせるお世話するしぐさです。身近な出来事を再現して遊ぶ姿はとてもかわいらしいものでした。

G君がその人形をベットからとり出してしまいました。「遊んでいるものをつい、崩したくなる年齢だよね」そんな思いで見ていました。ちょっと離れたところでコロンと横になったG君。「もしかして、お人形ではなく、自分がブロックのベットに寝て、とんとんしてほしかったのでは？」と保育者が思いました。

G君が寝られるような大き目のベットをつくるとさっそくG君がゴロン。お友達がとんとんをしてあげていました。とても満足そうなG君でした。他の子ども達もコロンと横になる子、友達をとんとんする子と、楽しい遊びの場となりました。

「遊んでいるものをとらないんだよ」などと言っていたら、こんな様子も見られなかったかもしれません。「子どもの行動には意味がある」ということを見逃さないようにしたいと思ったエピソードです。

カメラスケッチ



「路線バスに乗りました」
きいろ組(5歳児)

「乗車券！」
みどり組(4歳児)

「これ、押すね！」
みどり組(4歳児)

きいろ組(5歳児)
「ピンポーン！とまります」

バスに乗りました

もも組(3歳児)

「乗車券取ります」もも組(3歳児)

「あっ、バス！」
みかん①組(1歳児)

「バス大きいね！」あか組(2歳児)

友達と一緒に「えほん」、おもしろいね！

「これさ～」「うんうん」
みどり組(4歳児)

「おにだぞ～」「かわいいね」
みかん①組(1歳児)

「みんなで並んでるね」「うん」
あか組(2歳児)

「わたしも」「ぼくも」「体操、上手でしょ」運動会総練習の体操を見て
あか組(2歳児)

園内散歩　みるく組(0歳児)